

2021 年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2 年 鉄道科 鉄道・交通サービスコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。
当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付けること科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2021 年度 昼間部 2 年 鉄道科鉄道・交通サービスコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	7	8	6	6	27
	専門科目	13	20	22	23	78
合 計		20	28	28	29	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	脳力開発Ⅰ	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15
	ビジネスコミュニケーションⅠ	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーションⅡ	講・演	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講・演	1	15
	Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	15
	キャリアデザインⅠ	演	2	30	キャリアデザインⅡ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	演	1	15				
	パソコン	演	1	15												
	就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15	卒業研究Ⅰ	演	2	30	卒業研究Ⅱ	演	2	30
													国際交流	演	1	15
	小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90
必修科目 専門科目	旅行業法	講	1	30	Station EnglishⅠ	演	1	15	Station EnglishⅡ	演	1	15	Station EnglishⅢ	演	1	15
	旅行業約款	講	1	30	鉄道アナウンス演習	演	1	15	鉄道業務実務Ⅰ	演	3	45	鉄道業務実務Ⅱ	技	2	45
	国内旅行地理Ⅰ(自然景観)	講	1	30	CS・クレーム対応対策	演	1	15					旅と鉄道	講	2	30
	国内旅行地理Ⅱ(温泉・祭)	講	1	30	業界受験対策	講	1	15	鉄道業界研究	講	1	15	鉄道接客演習	講	1	15
	国内旅行地理Ⅲ(日本文化)	講	1	30					手話講座Ⅰ	演	1	15	手話講座Ⅱ	演	1	15
	観光業界ガイドⅠ	講	2	30	観光業界ガイドⅡ	講	3	50	中国語Ⅰ	講	2	30	中国語Ⅱ	講	2	30
	鉄道一般Ⅰ	講	1	15	鉄道一般Ⅱ	講	1	15	鉄道一般Ⅲ	講	1	15	鉄道一般Ⅳ	講	1	15
	鉄道バリアフリー	演	1	15	ニュースディスカッションⅠ	講	1	15	ニュースディスカッションⅡ	講	2	30				
	国内航空運賃・その他料金	講	1	15	ディベート入門	演	1	15	ステーションエクササイズⅠ	演	2	30	ステーションエクササイズⅡ	演	2	30
	鉄道運賃・料金	講	1	30	サービス接遇Ⅰ	講・演	1	15	サービス接遇Ⅱ	演	1	15	インバウンド業務	講	1	15
													社会人準備講座	演	2	30
	時刻表実務Ⅰ	講	1	30	時刻表実務Ⅱ	講	2	30	時刻表実務Ⅲ	講	2	30	時刻表実務Ⅳ	講	1	15
					国内管理者対策	講	5	90	パソコンスキルⅠ	演	2	30	パソコンスキルⅡ	演	2	30
	観光プランニングⅠ	演	1	15	観光プランニングⅡ	演	2	30	鉄道イベントプロモーションⅠ	演	2	30	鉄道イベントプロモーションⅡ	演	2	30
									観光プランニングⅢ	演	2	30	観光プランニングⅣ	演	2	30
	小計		13	300	小計		20	320	小計		22	330	小計		23	360
計	1年前期 計		20	405	1年後期 計		28	440	2年前期 計		28	420	2年後期 計		29	450
	1年 計						48	845	2年 計						57	870
	2年間 合計														105	1715

	1年前期		1年後期		2年前期		2年後期	
	科目名	区分	科目名	区分	科目名	区分	科目名	区分
行事	スタートアップセミナー		中村学園祭		オリエンテーション		中村学園祭	
	スポーツ大会				スポーツ大会			

共通科目

シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English Ⅲ・Ⅳ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>				
授業概要	テーマに則したセンテンスを、会話、リスニング、記事などのリーディング、アクティビティを通して練習していきます。クラスはレベル別に分かれますが、どのクラスも授業は出来る限り English Only で進めます。				
到達目標	日常的な話題について、シンプルな英語でコミュニケーションをとることが出来る。 異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとすることが出来る。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	American Headway Level1 (Oxford 出版) 3520 円(税込) 1 年次購入済				
授業計画	【Unit 7 Dates to remember】 過去形 行事 【Unit 8 Eat in or out?】 数えられる・数えられない 名詞 買い物 【Unit 9 City living】 比較級・最上級 道案内 【Unit 10 Where on earth are you?】 場所に付く前置詞。 人物について形容する。 【Unit 11 Going far】 未来の表現 天候について尋ねる。 【Unit 12 Never ever!】 世界の国々と国旗 経験について話す。				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)49%以下、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

シラバス(授業計画)

科目名	キャリアデザインⅢ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	就職担当				
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	<p>1 年次とは変わり、就活情報の共有を主とした授業となります。</p> <p>就活は各自の目指す業界、企業により開始時期や進行状況が異なりますので、個々の進行に応じ個別にバックアップし内定に向けサポート致します。また、内定者については自身も含めた就活情報の整理や入社に向けたビジネスマナーの習得をフォローしていきます。</p> <p>後期には内定者を対象に就職交流プラザもあります。後輩への指導や自分達の学校、学科を誇りと出来るように積極的に自分の出来る事を考え、行動する時間としましょう。</p>				
到達目標	<p>1、内定及び進路決定を得ること。</p> <p>2、社会人としての最低知識を有し、実行できること。</p> <p>3、自身の就職活動をまとめ、後輩指導に役立たせられること。</p>				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	<p>「就職活動テキスト CAREER ADVICE TEXT」(インテリジェンス)1,620 円</p> <p>* 一年次購入済み</p>				
授業計画	<p>【就職活動実践】</p> <p>就活サイトを利用した就活、企業研究、求人確認、業界・企業動向研究、自己 PR・志望動機作成、履歴書・ES 作成、面接演習、GP ワーク演習、小論文演習、SPI 対策と模擬試験演習</p> <p>【内定後】</p> <p>お礼状作成、内定報告書類作成、就活資料の整理</p> <p>【ビジネスコミュニケーション】</p> <p>ビジネスメール作成、受付と接遇対応、名刺交換、ビジネスルールの理解、ビジネスセールストーク術、時事問題、グループワーク演習</p>				
成績評価 方法	<p>期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、授業態度、提出物などが評価基準です。</p>				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 85 点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 65 点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ・Ⅲ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義・演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	岡田・須田・橋本				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>				
授業概要	目的:観光・ブライダル業界人としてふさわしいビジネスマナーや必要知識を身に付けること。 概要:1 年次習得した基本のビジネスマナーを基にロールプレイを交えた発展的な内容を学ぶ。 また、一般常識や必要知識を学習する。				
到達目標	卒業後、新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を得ること。また、体现できること。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input type="checkbox"/> 名称：秘書技能検定・ビジネス能力検定ジョブパス				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社 1,430 円(税込) (1 年次購入済み)				
授業計画	<p>【接遇】</p> <ul style="list-style-type: none">・アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換・電話応対・上座、下座 <p>【一般常識】</p> <ul style="list-style-type: none">・ビジネス文書(基本文書体裁とルール、宛名書き)・ビジネスメール・ビジネス用語 <p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none">・年金、税、保険・組織(役職)と部門・慶弔・その他社会人として必要な知識 <p>ロールプレイ等を交えた実践的内容となると良い。</p>				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	国際交流			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期 : 1 単位	時間数	後期 : 15 時間
担当	各担当講師				
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	コロナ禍により一時は海外との交流が途絶えてしまいましたが、それでも今後、私たちが多くの国籍の方たちに接し、共に暮らし、共に働く環境が復活することでしょう。この科目は、ITH ならではの校内で異文化に触れることが出来る環境を活かし、留学生との交流を通してお互いの「文化」「習慣」の違いを学び、理解を深めることを目的とします。				
到達目標	①日本の「文化」「習慣」をどのくらい知っていますか。まずは独自の文化への理解を深める。 ②留学生との交流を通し、お互いの「文化」や「習慣」の違いを学ぶ。 ③言葉の壁を越えた、非言語コミュニケーションの奥深さを体得する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし(適宜必要な資料、プリント等を配布)				
授業計画	<p>【Instagram】 個人ワーク 外国人が「いいね」を押したくなる日本の紹介 年中行事、自然風土、スポーツ、音楽、食べ物など、様々な分野について考える。</p> <p>【日本マニアック】 グループワーク チームに分かれてテーマを選び、徹底的に調査し(実地調査含む)、まとめる。 動画作成</p> <p>【発表・交流】 留学生に対して発表をする。</p>				
成績評価 方法	・授業取組姿勢 ・発表内容 ・国際交流への意欲				
成績評価 基準	A: 出席率 90%以上、平常点 優 B: 出席率 80%以上、平常点 良 C: 出席率 60%以上、平常点 可 D: 出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	卒業研究Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	屋間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	各ゼミ講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	<p>この科目は、自身の興味ある分野を広く調査研究し深く考察することを目的とする。 観光関連の中から自らがテーマを決め、主体的に調査・研究を行い、考察を入れてレポートを作成する。今まで学校で学び得た知識や経験、図書館やパソコン、見識者、実地踏査などの手段により情報を集め研究する。講師からの助言・指導を受けながら卒業までにレポートをまとめる。また、研究成果の報告としてプレゼンテーションを行う。また、ゼミ内で優秀な作品を選出し、全体でのプレゼンを行う。 なお、卒業研究レポートの中で秀逸なレポートについては、卒業時に「卒業研究レポート優秀賞」として表彰する。</p>				
到達目標	<p>①自身の調査した内容をレポートにまとめ提出する。 ②プレゼンテーションの作成及び発表を行う。</p>				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし(適宜必要なプリントをゼミ担当者より配布)				
授業計画	<p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究とは ・テーマの決め方 ・レポート作成における調査研究方法 <p>【調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査計画の作成 ・調査研究の進捗に合わせた個別指導 ・実施内容の確認 <p>【レポートのまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート構成(序論、章、まとめ) ・レポート内容(目的、方法、結果、考察) ・文献資料を参考し作成する <p>【発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの作成 ・サマリーの作成 ・台本の作成 ・プレゼンテーション練習と本番での発表 				
成績評価 方法	<p>・平常点は授業取組姿勢、研究意欲等を考慮する。 ・以下の提出物は全て提出すること。 【提出物】前期:序論 後期:レポート・発表用資料</p>				
成績評価 基準	<p>A: 出席率 90%以上、平常点 優 B: 出席率 80%以上、平常点 良 C: 出席率 60%以上、平常点 可 D: 出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	脳力開発Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	住友 大我				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	トレーナー業、近年はトレーナー育成業を中心に 15 年ほどの実務経験があります。			
授業概要	心身ともに健康な状態で、社会人として長く活躍できるよう、メンタルトレーニングを中心とした脳の働き(脳力)を高める方法を学びます。				
到達目標	緊張からリラックス集中への反射を形成して、いつでも能力を発揮できるようになる。また、ストレスに対処する、ストレスを成長につなげる、モチベーションを高める、発想力を高めるなどの内容を、脳の働きをもとに理解する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：メンタルウェルネストレーニング基礎課程				
教科書 教材	授業用教材セット 4,840 円(税込)				
授業計画	<div>・ メンタルトレーニング 思い方の練習(期待感と満足感を高める) 段階的リラクゼーション法(緊張からリラックスへの反射形成) 自律訓練法(リラックスした集中への反射形成)</div> <div>・ ビジントレーニング 情報処理能力の向上(脳活ドリル、他) 視覚思考力、論理思考力の向上</div> <div>・ 脳力を発揮するための生活習慣 睡眠に関連する内容(疲労回復、記憶力、発想力との関連など) 運動、食事に関連する内容など</div> <div>・ その他 自己分析(エゴグラム) メンタルヘルスに関連する内容(ストレスマネジメント、他) 能力発揮に関連する内容(目標設定、モチベーション、他)</div>				
成績評価 方法	試験、出席率、平常点(提出物・授業態度など)の組み合わせで評価します。 詳細は、各期の初回授業で説明します。				
成績評価 基準	【試験】A: 80 点／％以上、B: 70 点／％以上、C: 50 点／％以上、D: 50 点／％未満 【出席率】A: 100％、B: 80％以上、C: 60％以上、D: 60％未満 【平常点】A: 優、B: 良、C: 可、D: 不可				

学生へのメッセージ

後期の授業内でメンタルトレーニングの検定試験を実施します。
合格した場合は、保有資格としてプロフィールなどに記載することが出来ます。
なお、受検料は発生しません。

鉄道・交通サービスコース
専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	Station English II・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	Robert				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>				
授業概要	鉄道業界で働く際に遭遇する場面での「仕事で使えるフレーズ」を覚えることを目的とします。 2020 年東京オリンピックをふまえ、2 年の前期はみどりの窓口・後期はびゅうプラザで、海外からのお客様に日本の文化や東京近郊の観光地を案内する英語を習得します。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるよう、会話、リスニング、アクティビティを通して反復練習をしていきます。				
到達目標	テキスト Station English II とⅢの Conversation を暗記し、それぞれの窓口担当スタッフのパートを、スムーズに会話することが出来る。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	Station English (オリジナルテキスト) 800 円(税込) 1 年次購入済				
授業計画	【みどりの窓口で使う英語】 ・挨拶 / 特急券の販売(出発希望時刻の確認) ・特急券の販売(空席状況の確認) ・人数の確認 ・指定席と自由席 ・金額の提示 / 支払い方法の確認 ・行先の変更 ・途中下車 ・切符の紛失		【びゅうプラザで使う英語】 ・人気の観光地 ・人気の理由 ・観光地への行き方 ・富士山について ・電化製品について(秋葉原) ・温泉		
	【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施		【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施		
成績評価 方法	評価試験は会話テストを実施し、出席率・授業態度と総合して評価します。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	サービス接遇Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期： 1 単位	時間数	前期： 15 時間
担当	須田 礼美				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	1 年次に学習した内容を、知識や情報としてではなく実践的に社会で使えるようにしていきます。 鉄道業界の最新の時事問題をとりあげたニュースサマリーの発表と質疑応答を通して、接客サービスを提供する上で必要な「セルフプロデュース力」を培う。				
到達目標	●「サービスマインド」と「サービススキル」の相違点を理解した上で、実践的な接客スキルを身につける ●アサーティブな接客に欠かせない、話す力(語彙力・表現力・説明力)と聴く力(理解力・傾聴力)を身につける				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	適宜プリント等を配布				
授業計画	●1年次の復習（チームメートから学べる事と自分自身の課題） メラビアン の法則に沿って、各情報から具体的な矛盾点を探す ①視覚情報（姿勢・表情・視線など） ②聴覚情報（声のトーン・大きさ・話すスピード・など） ③内容（言葉遣い・順番・分かりやすさなど） ●要約課題と発表(最新ニュースを通して鉄道業界の現状を知り、日本語力を伸ばし、発表で説明力を鍛える) ・過去1週間におきた鉄道業界ニュースの中から各自が1つ選び、それを要約し考察を加え授業で発表 ・発表後、内容に関する質疑応答 ・講師から視覚的・聴覚的な印象に関するフィードバック				
成績評価 方法	評価試験・課題・出席状況・平常点の総合評価とする				
成績評価 基準	A: 評価試験 90%以上、課題提出回数・内容 A、出席率 90%以上、平常点 秀 B: 評価試験 80%以上、課題提出回数・内容 B、出席率 80%以上、平常点 優・良 C: 評価試験 70%以上、課題提出回数・内容 C、出席率 70%以上、平常点 可 D: 評価試験 70%未満、課題提出回数・内容 D、出席率 70%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	ステーションエクササイズⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	北原 大輔				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		スポーツインストラクターとして実務経験あり。		
授業概要	仕事で最低限必要な体力を身に着ける。健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。基本的な運動や格闘技を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。				
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践(自己目標の設定)				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	なし、必要によりプリント用意				
授業計画	<p>【健康と体力】【筋トレⅠ】【「投げる」球技スポーツ】【ウォーキング、ランニング】 「健康」、体力、「健康と体力の関係」について学ぶ 筋トレ、器具の使い方や効果について バスケットボールなど(競技特性・ルールの理解と実践) ウォーキング、ランニングの正しいやり方と効用</p> <p>【ストレッチング】【格闘技】【持久カトレニング】 ストレッチングの意義と実践 キックボクシング等のパンチ、蹴りにより俊敏性を鍛える 持久カトレニングの意義と実践(持続性トレーニング)</p> <p>【筋トレⅡ】【運動と安全】【体力の測定と評価】 前期より負荷を挙げて筋力アップを図る 傷害の理解と予防 形態計測、筋力測定、運動能力テストの実施と評価</p>				
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。				
成績評価基準	A: 授業内期末試験 70 点以上、出席率 90%以上、平常点 15 点以上 優 B: 授業内期末試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点 10 点以上 良 C: 授業内期末試験 30 点以上、出席率 60%以上、平常点 5 点以上 可 D: 授業内期末試験 30 点未満、出席率 60%未満、平常点 5 点未満 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	パソコンスキルⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	眞舘 尚子				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	社会人になるにあたって現代ではPCなしの仕事は考えられません。この授業ではワードやエクセル、パワーポイントを含めたPC操作の基本操作をマスターします。				
到達目標	ワード・エクセル・パワーポイントの操作の基本を理解し、文字入力に対して不自由なくブラインドタッチが行えるレベルを目指す。 日本語ワープロ検定3級程度の能力(10分の入力時間に対して400文字程度)				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称:日本語ワープロ検定				
教科書 教材	なし(適宜プリントを使用します)				
授業計画	<p>【タイピング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームポジションについて ・ショートカットキーについて <p>【メール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送受信について ・ファイルを添付して送信する ・自動返信の設定について <p>【Power Point】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Power Pointの基本操作について ・効果的な資料の作り方 ・アニメーションについて ・画像と動画の埋め込み方 <p>【Word】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Wordの基本操作について ・文書の作成と画像の埋め込み <p>【Excel】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Excelの基本操作について ・表とグラフの作成 ・印刷範囲の設定とWordへの組み込み 				
成績評価 方法	授業内で提示される課題の提出と発表、テスト期間のテストを総合して判断します。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 80%以上、平常点: 優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 70%以上、平常点: 良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点: 可 D: 授業理解度 39%以下、出席率 60%未満、平常点: 不可				

学生へのメッセージ

パソコンは仕事をする上で必ず必要になります。効率的に仕事をこなすことができるよう、今しっかりパソコン操作に慣れておきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	時刻表実務Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：1 単位	時間数	前期：30 時間 後期：15 時間
担当	中山 健也 / 響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	鉄道業界にて実務経験あり。			
授業概要	旅行・鉄道に関連する業務に従事するものにとって必要不可欠な時刻表の使用方法を習得していきます。1 年次に学び磨いてきた時刻表の技術を、より実践的に現場で通用するレベルへ向けてさらに推し進めていきます。ⅣではJR以外の部分(私鉄)にも触れていきます。				
到達目標	業界で必要とされる時刻表実務能力の習得を最終目標とする。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	「JR時刻表」(交通新聞社)1,205 円(税込)				
授業計画	<p>【今年度の改正点】 路線、列車の改廃について 運賃料金制度の改定について</p> <p>【時刻表の実践的な技術習得】 総合演習問題による実践的な学習 ・区間外乗車、乗継割引、団体割引 ・特定都市、IC乗車券、乗り越し</p> <p>【時刻表のより実践的な技術習得】 乗継早見表と運賃料金早見表の実務的技術習得 ・新幹線と在来線特急、快速 ・新幹線、特急の普通車指定席・自由席・グリーン車 ・通過連絡運輸</p> <p>【時刻表の実務者レベルの技術習得】 総合演習問題による実践的な学習 ・新幹線と寝台特急列車の比較 ・四国内の特急列車の乗り継ぎ ・JR・バス・航空機の比較</p>				
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	千葉聴覚障害者センター登録講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	共生社会を実現するためには、障害を持つ人たちへの偏見や差別意識をなくし、共に手を携えて同じ場所に生活する深い意味や、全ての人が参加し、平等に情報を得ることの意味について考えることが必要不可欠です。その上で、実際に聴覚障害を持つ人との日常的な接し方、バリアフリー・コミュニケーションの手段を学び、また、接客に対応できるよう手話表現を身につけることを目標とし、学びます。				
到達目標	サービス業において、障害者のお客様と接する機会が多いと思われる。どのようなお客様にも均等にサービスが出来るようバリアフリーの授業とともに、この授業では聴覚障害・聴覚障害者への理解と認識を深めると共に簡単な手話表現が出来る技術の習得を目指す。				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：手話検定試験				
教科書教材	『新 友達をつくる手話』千葉聴覚障害者センター発行 1,000 円				
授業計画	<p>【前期】</p> <p>手話とは何か</p> <ul style="list-style-type: none">・講義「手話を学ぶにあたり」・基礎的表現の習得(挨拶、名前、家族、趣味) <p>日常会話の表現(基礎編)</p> <ul style="list-style-type: none">・日常会話の表現の習得(スポーツ、数字、時) <p>【後期】</p> <p>聴覚障害を知る</p> <ul style="list-style-type: none">・講義「聴覚障害者との接し方」 <p>日常会話の表現(応用編)</p> <ul style="list-style-type: none">・日常会話の表現の習得(仕事、住所、食べ物、日常生活、感情) <p>総合練習</p> <ul style="list-style-type: none">・施設内などでの火災や緊急時の対応(施設内トラブルで聴覚障害者が困ることなど)・手話表現の総合練習・まとめ				
成績評価方法	出席状況、実技試験、授業態度の総合評価で判断する。 実技試験を欠席した場合は0点となる。出席状況、授業参加意欲も評価される。				
成績評価基準	A: 評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 評価試験 70%以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期、後期	単位数	前期: 2単位 後期: 2単位	時間数	前期: 30時間 後期: 30時間
担当	張 翼飛				
	実務経験：有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無				
授業概要	この授業ははじめて中国語を学習する学生を対象とする、発音の習得を重視しつつ、簡単な言葉や表現を身につける、初歩的な中国語でコミュニケーションを取れることを目指しています。				
到達目標	基本的な会話を身に付け、鉄道業界の現場で想定される状況に応じた対応ができるレベルを目標とします。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	前期 《中国語初歩の初歩》 高橋書店 1,320円(税込) 後期 プリントを配布				
授業計画	<p>前期:</p> <p>【中国語の概要】</p> <p>基本、母音と子音の練習および四声の練習。</p> <p>出会いと別れの挨拶</p> <p>お礼とお詫びの言葉</p> <p>数字の言い方</p> <p>【基本文法】</p> <p>動詞述語文を学習</p> <p>形容詞述語文を学習</p> <p>名詞述語文を学習</p> <p>文の組立て方を学習</p> <p>後期</p> <p>駅構内、近隣の中国語案内</p> <p>新幹線車内販売時使う中国語センテンス</p> <p>車内アナウンスを使う中国語センテンス</p> <p>電車遅延時使う中国語センテンス</p> <p>クレーム対応時使う中国語センテンス</p> <p>身体の不自由な方への中国語対応</p> <p>中国語テスト対策</p>				
成績評価 方法	授業内にてテストを実施 ※業界人として相応しくない身嗜みの者は、平常点不可とする。 試験結果、平常点、出席率による総合評価とする。				
成績評価 基準	<p>A: 授業内期末試験 90%以上、出席率 80%以上、平常点良好</p> <p>B: 授業内期末試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点良好</p> <p>C: 授業内期末試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点普通</p> <p>D: 授業内期末試験 59%以下、出席率 60%未満、平常点不良</p>				

学生へのメッセージ

今後増加するインバウンド需要に合わせ、鉄道会社では中国語で接客に力を入れています。駅スタッフ、車掌等の鉄道業界への就職後に使用する機会も多いと思いますので一緒に頑張りましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	鉄道イベントプロモーションⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。			
授業概要	各鉄道会社では、自分の会社を利用させていただくための様々なイベントを考え行っている。子の授業ではそういったイベントを研究し、「自分がイベントを担当することになったら」をグループで考える。また、外部のイベントに参加することにより必要な知識の習得と、お客様に喜んでもらうコミュニケーション能力・リピーターを作るという経営の視点を養う。				
到達目標	様々な鉄道会社が行っているイベント内容を知る。プレゼンテーション能力を身に付ける。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	なし （作成したプリントなど）				
授業計画	<p>【鉄道会社が行う様々なイベントを知る。また、そのイベントから得られる効果を知る。】 鉄道会社が行う様々なイベントを知り、その効果を考える。 その中で対外的な経済効果や集客について学ぶ。</p> <p>【実際のイベントに参加する。】 各グループを作り、自分たちで参加したいイベントや興味のある鉄道会社の企画に参加してくる。 ※ツリヌス EXPO には各自で必ず参加すること</p> <p>【イベントを研究・企画する。】 グループごとに分かれ、プレゼンテーションに向けて様々なイベントを研究・企画する。</p> <p>【イベントの提案準備・発表】 自分たちで体験したイベントを基にターゲットの会社に合わせた企画を作成し、プレゼンの準備を行う。 また、実際に鉄道会社へ出向き、プレゼンを行う。</p> <p>【チームビルディング】 様々なチームビルディング研修を受け、チームワーク力を向上させる。</p>				
成績評価方法	評価試験はプレゼンテーションを実技試験とし、筆記試験との合計で 100 点とする。 また、授業参加意欲を平常点として評価する。				
成績評価基準	A：評価試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C：評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

この授業はひとりひとりのアイデアと、チームワークを必要とします。ひとりひとりが手抜きをせず、チームで協力して取り組みましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	鉄道一般Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	小倉 雄司				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌、駅(運転指導) 助役として実務経験あり。			
授業概要	安心・安全・正確、当たり前のように思いますが外国の鉄道はどうでしょう。国鉄から JR と変わりましたが、お客様が安心して鉄道をご利用していただくという精神は 100 年以上も受け継がれています。新幹線の構想は明治からあった話など、ここでは明治からの鉄道の歴史から現在の鉄道の設備、興味のある車両などを幅広く学習していきます。 後期では鉄道信号、保安装置、過去の鉄道事故の解説、電化区間、車両のしくみなどの学習 鉄道に於ける犯罪と鉄道警察隊の役目について、運転専門用語を集中して学習します。				
到達目標	保安装置、車両等の種類・運転用語の意味と理解・現場についての知識の習得を目指します。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	プリント				
授業計画	【鉄道輸送と安全について】【鉄道と法律】 鉄道員の安全輸送の指針、【安全綱領】とは 鉄道員とは・求められる人物 国鉄から JR へ、変わらぬ安全輸送の使命 鉄道営業法について 三河島事故について(原因と問題点と教育と訓練の重要性の原点) 【鉄道信号】【業務用語の意味】 鉄道信号と交通信号の相違と種類 列車と車両 ATS・ATC などの保安装置、ATOS による列車運行管理について 列車ダイヤ・ダイヤグラム(列車の運行がすべてわかる線で表している時刻表) 時刻の表示・24 時間制 【車両の設備】 集電装置・いろいろな連結器・台車の働き 列車無線の働きと歴史 直流・交流電化と車両の装置の違い 【鉄道員の職制と昇職試験について】 鉄道会社の仕事(駅員、車掌、運転士)、ホテル業界用語等				
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 評価試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

鉄道の運転に欠かせない保安システムについては、繰り返し講義します
 鉄道沿線になにがあるか、景色にも興味をもってください(昼、夜の景色)の違い、走行音で現在位置の確認など

シラバス(授業計画)

科目名	鉄道業界研究			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	中山 健也				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて実務経験あり。			
授業概要	各事故を題材に研究し、自分の今の立場、将来なり得る立場を想定し、様々な視点で物事を考え、将来の現場業務に生かしていく。 また、グループワークを通じ、「相手に伝える」という勉強にもなる。				
到達目標	今回学ぶ各事故についての内容把握、調べた内容を発表する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	別途、プリントを配布する。				
授業計画	<p>【題材(仮)】</p> <p>題材①: 福知山線脱線事故 題材②: 東京メトロ半蔵門線九段下駅ベビーカー挟み事故 題材③: 東海道新幹線台車破損トラブル</p> <p>【上記題材について】</p> <p>① 映像・動画等で主な概要等を知る ② 概要等について個人でまとめる ③ 各自のまとめを用い、ディスカッションしながら模造紙にまとめる ④ 各班の発表</p> <p>【具体的に】</p> <p>・誰が原因で事故が発生したのか ・どうすれば防ぐことができたのか ・自分が当事者だったらどうしていたか など、日頃はあまり考えない所をグループワークを通じ、学んでいく。</p>				
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	鉄道業務実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	前期:演習 後期:実技
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：3単位 後期：2単位	時間数	前期：45時間 後期：45時間
担当	響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。			
授業概要	安心・安全・正確が当たり前の日本の鉄道ですが、それは鉄道掛員の地道な業務で成り立っています。 1年生の時に学んだ基本を活かし、駅掛員、車掌の業務、運転士の業務の肝とは何なのか、授業で知識を習得していただきます。 また、学校内の施設を活用して、アナウンスや基本動作、CSの知識を活かしたお客様との対応などを体験し、鉄道の仕事の本質をさらに知っていただきます。				
到達目標	また、実際の業務を疑似体験し、鉄道員としての心構えをする。 また、鉄道に限らず、社会人として必要な心構えをする。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	プリント				
授業計画	【鉄道輸送と安全について】 鉄道の運転の世界とは 【鉄道と法律】 綱領とは 鉄道員とは・求められる人物 鉄道営業法について 三河島事故について(原因と問題点と教育と訓練の重要性の原点) 【鉄道知識】 列車と車両 鉄道信号について ATS・ATCなどの保安装置 時刻の表示・24時間制 電車と気動車 【業務体験】 実践的なアナウンス 基本動作の意味を考え実践する 車掌の到着監視・出発監視・客扱い時の注意点 車掌の責任とは・駅員との違い 列車防護について 車掌の乗車券等の知識 平常時・異常時の案内放送				
成績評価 方法	評価試験は実技・筆記試験の合計で100点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。				
成績評価 基準	A：評価試験 90点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 70点以上、出席率 70%以上、平常点良 C：評価試験 50点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験 50点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

最後の学生生活、授業を通じ、学生から社会人になるための心構えをしておきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	鉄道接客演習			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：15 時間
担当	中山 健也				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて実務経験あり。			
授業概要	これまで学んできた地理の知識を、より現場で使うことを意識した内容として学ぶ。 また、実際のお客様からの質問を想定し、案内する練習をする。				
到達目標	観光地と最寄り駅を覚え、時刻表を用いてお客様に正確に案内できるようにする。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	「JR時刻表」(交通新聞社) ※ 時刻表実務で購入済 「旅に出たくなる地図・日本」(帝国書院) ※ 国内旅行地理Ⅰで購入済 「国内観光地理サブノート」(JTB総研) ※ 国内旅行地理Ⅰで購入済				
授業計画	<p>【最寄り駅と観光地を学ぶ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 東北地方・ 関東地方・ 中部地方・ 近畿地方 <p>【時刻表を使用し、所要時間・値段を調べる】</p> <p>ただ最寄り駅を伝えるだけでなく、時刻表を用いて所要時間・値段を伝える。 必要なきっぷの種類なども考えます。</p>				
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	旅と鉄道			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 後期	単位数	後期：2 単位	時間数	後期：30 時間
担当	松川 信也				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 国内外添乗員経験あり。				
授業概要	<p>「鉄道を使った旅」をさまざまな角度より考察し、どう楽しむか材料を研究する。</p> <p>国内の旅行では、なくてはならない鉄道を使うことにより、毎回色々なテーマに沿って旅行を演出する方法と楽しみ方を紹介します。鉄道業界の最新トピックスも紹介します。</p> <p>実際に使用できる知識や今後大いに役立つ内容で、鉄道を別視点からも楽しんでもらいます。</p>				
到達目標	鉄道を利用した旅の楽しみ方を身につけ、方法を説明できる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【新幹線利用の旅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線の歴史、車両把握 ・路線ごとの利用者にとっての違い ・新幹線路線の今後 ・観光列車になっている特別な新幹線 <p>【ローカル線の旅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光列車紹介 ・SL路線 ・青春 18 きっぷ活用法 ・「津軽」の鉄道 <p>【秘境駅・廃線跡訪問の旅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秘境駅とは ・「肥薩線」「大井川鉄道」に見る秘境駅 ・北海道「幸福駅」をはじめとする廃線跡の活用 <p>【その他旅を楽しむ鉄道トピックス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難読駅名 ・珍しい駅 ・鉄道遺産 				
成績評価 方法	知識の習得度合いを期末時に実施し(期末試験)、評価試験とする。各パートごとに授業内課題が出されて、平常点扱いとする。平常点、出席率、評価試験合計点の総合評価。				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

鉄道科の皆さんにとって、最後は「鉄道旅を楽しむこと」が究極の目標ですね。人それぞれ楽しみ方がありますが、さまざまな手法を紹介するので、これまでの楽しみ方の再確認や新たな手法の取入れ、また情報交換の場としての授業を楽しんでほしい。

シラバス(授業計画)

科目名	社会人準備講座			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期: 2単位	時間数	後期: 30時間
担当	立石 智之				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	これから社会人として活躍するために、身につけておかなければならない最低限の常識やマナー、言葉遣いについて学びます。 社会に出て恥ずかしい思いをしないよう事前準備をしっかりと行いましょう。				
到達目標	社会人として求められる最低限の常識、マナーや言葉遣いを実践できることを目標とする				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし 適宜プリントを使用する				
授業計画	<p>【社会人としての心構え 基本マナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人と学生の違いを考える ・新卒で働く意義とは ・あいさつ 仕事に対する姿勢 ・周囲とのコミュニケーション SNS サービスの怖さ <p>【社会人としての常識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出社から退社まで ・身だしなみ ・電話の対応（かけ方、出方、取りつぎ方、切り方） <p>【社会人としての言葉遣い、社交文章】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧語、尊敬語、謙譲語の使い方 ・ビジネス文書の書き方、ビジネスEメールの書き方、会社で使うビジネス用語 <p>【お金についての基本情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を稼ぐ、使う、貯める ・税金について、円/ドル相場と株のしくみ <p>【福利厚生について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保険と制度、持ち株制度など 				
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	インバウンド業務			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：15 時間
担当	立石 智之				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	インバウンド・ツーリズムについて インバウンド・ツーリズムは我が国に多くの経済効果をもたらす事業である。 近年は国策であるビジットジャパン・キャンペーン(VJC)や、ワールド・ディスティネーションキャンペーン(WDC)の効果もあり、昨年は2,400 万人を超え、新たに4,000 万人の目標設定がされました。これにより旅行業界にも新たな展開が期待されています。 授業ではインバウンドの基礎知識と現状を理解し、皆さんで魅力あるツアーを考えます。 インバウンド・ツーリズムの将来の動向を考えていきます。				
到達目標	インバウンド業界の基礎知識を得る。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【インバウンドとは】 インバウンドの現状を把握する 【インバウンドの現状と実態】 訪日外国人旅行者数の推移 実際の行程や観光コース、ショッピングの状況 【各国のインバウンド事情と推移】 外国の外国人旅行者数と訪日外国人旅行者数の比較 【訪日旅行者に人気の観光地】 なぜ訪日外国人旅行者が増えているか どんな場所が人気なのか 【インバウンドツアーの作成】 グループワークで訪日ツアーを考える(ツアー作成) 作成したツアーの発表				
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	ニュースディスカッションⅡ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期：2 単位	時間数	前期：30 時間
担当	富澤 邦明				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	世の中でどのような動きがあるのかニュースに関心を持っていただくきっかけを作る。ニュースをピックアップし、色々な観点からニュースを考える。また講義が進むなかでグループワークなどを行い、ニュースについて意見を出し合い、考察する。				
到達目標	社会人準備としてどのような事が話題になっているのか、ニュースに関心を持つきっかけとコミュニケーションのツールとして役立てる。ニュースについて多角的な見方を養い、自分の意見を述べられるようにする。日々アップデートされる、時事問題等についても最新の情報を入手する姿勢を養う。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書教材	特になし インターネット上のニュース記事や新聞を用いる。				
授業計画	<p>どのようなニュースが話題なのか、いくつか用意したニュースについて各個人で考え、自分の考えを述べられるようにする。</p> <p>各自が、気になるニュースをピックアップして、そのニュースについて自分の考えと周りの考えを比較検討する。 (なぜ気になったのか、記載されている記事について違う考え方や見方が可能か等)</p> <p>用意したニュースについてグループワークを行い、ニュースについて多角的な意見を出し合い、それを纏める力と発表能力を鍛える。</p>				
成績評価方法	授業の出席率、受講姿勢、期末テストにて評価を行う。期末テストは、これまで取り上げたニュースで重要部分について出題するとともに、出題した記事について自分の考えを解答用紙に記入。記事について多角的に考えられる事や必要であれば、改善解決方法など記入し採点する。				
成績評価基準	A: 評価試験 80 点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点 優 B: 評価試験 60 点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点 良 C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

接客業務に就くには当然、業務知識は必要です。しかし、お客様はいろいろな業種の方が来館し、あなたと会話を交わします。常に、社会の動きに敏感になり、会話がはずめば、お互いに良い雰囲気の仕事ができると思います。新聞・テレビなどの事件・事故等、出来事を資料に授業を進めたいと思います。

シラバス(授業計画)

科目名	観光プランニングⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	立石 智之/中山 健也				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	立石:旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。 中山:鉄道業界にて駅務・車掌として実務経験あり。			
授業概要	昨今の観光とは、ただ「旅行に行く」だけではなくなっています。 お客様毎に達成したい目的を観光業に携わる観点から考察し「どのようにしたらお客様に喜んでもらえるか」 「どうすればお客様に選ばれるか」を考えながら様々なイベントを企画します。 また各観光地を題材にしたイベント等にも参加し、お客様から見た視点を養い、改善点や問題点を見つけ どのようにすれば改善できるかをグループワークを用いて学習します。				
到達目標	1 年次に学習したプランニングの基礎を用いて、自分達の旅行計画や他の人に向けての計画を作成する 実際に各地のイベントを参考にしながら新しいイベントの企画立案や企画書の作成を行い グループワークを中心としながら、様々な視野を持ってお客様に対応できるよう学習する				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	授業の概要説明と進め方 テーマ作成に当たっての注意 ツアープランニングの補足説明、ツアー作成のポイント説明 グループ分け、ツアーテーマ仮決定、意見交換会議 打合せ内容を基にツアーテーマの最終決定 決定したツアーテーマでの行程表作成 各グループのプレゼン内容の検討、再構成 パワーポイントの作成、企画発表準備 プレゼンシミュレーション、資料作成 各グループに分かれてイベントを体験・作成することにより問題点を意見しあう。 また実際に各地のイベントに参加し、事前の問題点に改善があるのか考察すると共に新しい発見を見つける。 グループ内で、意見をだしあい資料を作成。 発表用パワーポイント作成と、シナリオ作成				
成績評価 方法	プレゼン評価を点数化し、出席率、平常点の総合点数にて評価する				
成績評価 基準	A:授業理解度プレゼン評価 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B:授業理解度プレゼン評価 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C:授業理解度プレゼン評価 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D:授業理解度プレゼン評価 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	危機管理			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期: 1 単位	時間数	後期: 15 時間
担当	立石 智之				
	実務経験 : 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無				
授業概要	危機管理とは、不測の事態に対して事前に準備される、被害を最小限に食い止めるための対策のことを言います。ここの授業では皆さんの生活や今後の社会人人生を考え、地震・火災またお客様の負傷時の知識の他、SNS 情報など様々なリスクを学び、さらにそれらのリスクを発生させない防止策や発生時にスタッフが冷静で迅速な案内ができるように演習を行います。				
到達目標	・社会のあらゆるリスク、SNS(情報)・災害(地震・火災)、人身事故による緊急搬送等の基本的な知識を持ち、自らが進んで行動できる				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【情報伝達・社外秘の重要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS サービスの怖さ ・社外秘の重要性 ・社会における機密の重要性 <p>【地震・火災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震・火災防止知識・発生時の基礎知識 ・社会における災害対策設備知識 ・災害時初期対応・実技練習 ・応急対応や緊急時の搬送について <p>【確認テスト実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ災害対策演習 ・確認テストの実施 				
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ